

KYOWA RUBBER NEWS LETTER

深秋の候、貴社ますますご繁栄の事とお慶び申し上げます。
共和ゴムの寺阪です。



代表取締役 寺阪 剛
Takeshi Terasaka

今年もあっという間に、もう11月となり、残すところ、あと2ヶ月となりました。米中貿易戦争、香港問題、英国のEU離脱など、世界経済が不穏な状態になりつつあり、またアメリカでは長短金利逆転(逆イールド)という現象まで起こりました。

長短金利逆転は「景気の終わり」が到来すること指しているといわれ、長短金利逆転の1年後くらいには世界的な不況がくるとも言われております。近い将来到来するであろう世界的な不況に向けて来年度以降は中長期的な視点で色々な戦略を考えております。来年からの3年間で当社が更に大きく成長できるかどうかの勝負の時だと思っており、かなり気合が入り興奮しております!たしかに「不況」は正直来てほしくはありませんが、「不況の到来」という外的環境要因は、イチ経営者で防ぐことは到底できず、どうしようもない事です。ただ「不況」の中にも必ずやチャンスはあるでしょうし、他社との差別化戦略が成功した時の効果は好況時よりも大きいかもしれません。「来たるべき不況」に負けられない戦略・戦術で、将来の大きな成長への足掛かりにしたいと思っております。会社全体の戦略的な事についての詳細はここでは述べませんが(笑)、小さな社内改革としては、次の6つがあります。会議の大幅な効率化を図る会議改革、マンネリ化した営業活動を一新する営業改革、徹底した更なるペーパーレス化、全社員との個人面談制度、徹底した3S活動、営業ならびに業務の更なるIT化による効率化などを考えております。それぞれの改革活動にはリーダーを決め、プロジェクトチームとしてしっかりと取り組んでもらいます。当社は前向きでやる気がある従業員が多いので、これら改革も実現でき成功すると信じております。

このような「来たるべき不況」に負けないように全社一丸となって取り組んでいきます。

今後とも何卒宜しくお願い致します。



<http://www.kyowa-r.com/>

KYOWA
RUBBER
NEWS
LETTER

共和ゴムニュースレター 第47号
2019年11月発行

ニュースレターのバックナンバーは
弊社ホームページでご覧いただけます。

共和ゴム株式会社

本社

〒573-0102 大阪府枚方市長尾家具町3丁目4番地3
Tel. 072-855-1039 / Fax. 072-855-1090

東日本営業所

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-15-3日本橋HYビル4F
Tel. 03-5255-5133 / Fax. 03-6673-3505

栃木事業所

〒323-0057 栃木県小山市南小林439
TEL:090-3268-1039 FAX:028-333-1169



2019.11 Vol.47

01 新製品『アンカーゴムキャップ』を販売開始

「ドリフトアンカー」「Dehaアンカー」などは、コンクリート製品に埋め込まれており、コンクリート製品の吊り下げシステムとして多数使われております。

在庫している間に既存キャップを被せておくケースなどがありますが、既存キャップには防水性がないため、水の浸入による錆びや冬季の凍結が問題になっていました。

そこで昨年より、当社と株式会社イビコン様で共同開発を進め、防水性に優れた『アンカーゴムキャップ』の開発に成功し、今月から販売を開始致します。ラインナップとしては、1.3T用、2.5T用の2種類があり、5T用は現在開発中となっております。

この製品にご興味がありましたら、各営業担当者まで気軽にお問い合わせ頂ければ幸いです。

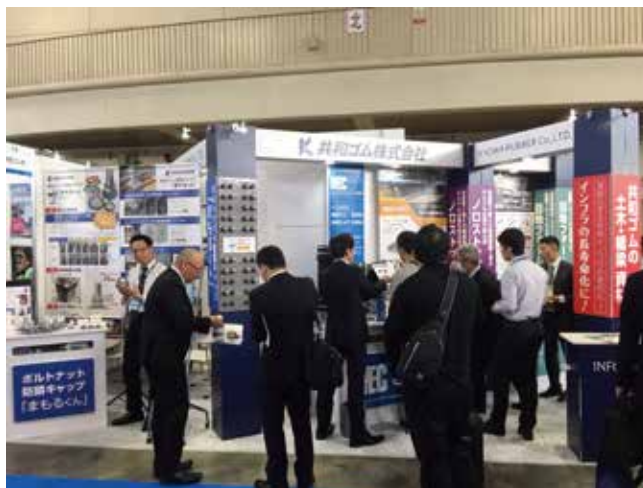


建設技術フェア 2019in中部

主催：国土交通省中部地方整備局
名古屋国際見本市委員会・(公財)名古屋産業振興公社

会期 2019年10月16日(水)・17日(木)
会場 吹上ホール (名古屋市中小企業振興会館)

建設技術フェア・出展レポート 総務・企画チーム 川崎 敏恵



(この記事は10月17日に書いております)

台風19号による被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。共和ゴムの総務・企画チームの川崎と申します。弊社の栃木事業所は辛うじて浸水の被害はありませんでしたが、付近の道路は冠水し、自宅や車が水没した従業員もあり、自然災害の恐ろしさを改めて思い知らされました。

台風の翌週10月16日、17日は、名古屋・吹上ホールにて開催された「建設技術フェア」に出展させて頂きました。この展示会では、主催企画の「災害対策車両展示」が台風19号の災害対策対応のために展示を中止し現場に出動しており、自分の関わっている仕事が「社会インフラ=人々の生活そのもの」なんだということを強く実感し、襟を正す思いで会場にて製品のご紹介をさせていただきました。

出展製品は、ボルトナット防錆キャップ「まもるくん」、PC床版取り換え大規模修繕工事のモルタル水漏れ防止材「ノロストッパー」、歩車道境界、中央分離帯、地先境界等の各種ブロックの目地材「目地フォーム」、そして共同出展メイコーエンジニアリング様様のゴム製継手MEC-L、MEC-LTです。

過去の台風では、ボルトの錆が原因で灯台が倒壊したケースもあり、今回は特に、CCT複合サイクル試験200サイクルをクリアしたボルトナット防錆キャップ「まもるくん」の有用性を多くの皆様にお伝えできたと思っております。

今後も弊社製品で、社会インフラの長寿命化に少しでも貢献していければと思います。製品についてご質問やご不明な点がございましたら、何なりと弊社営業までお申しつけください。何卒よろしくお願い申し上げます。

